

保護者様

名古屋市立桜田中学校長
寺窪久勝

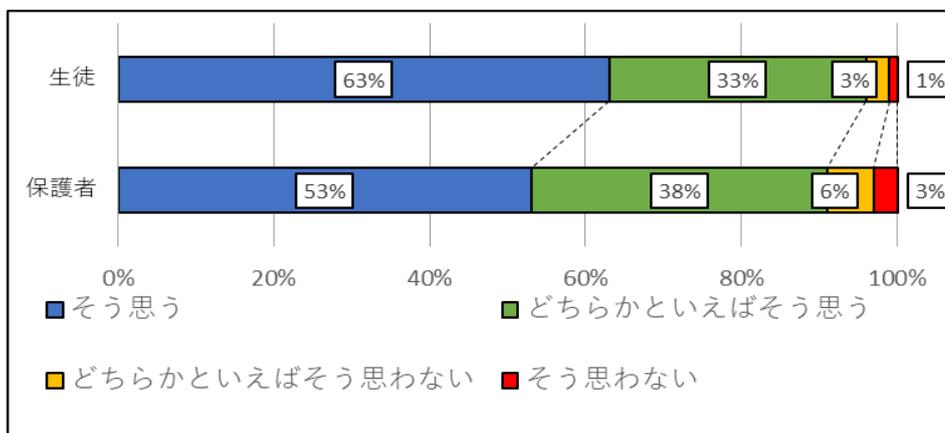
学校評価アンケートの結果と考察について

余寒厳しき折、保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒、保護者のアンケート結果と考察をお伝えさせていただきます。なお、学校ホームページ(<http://www.sakurada-j.nagoya-c.ed.jp>)にも掲載いたしますので、ご覧ください。

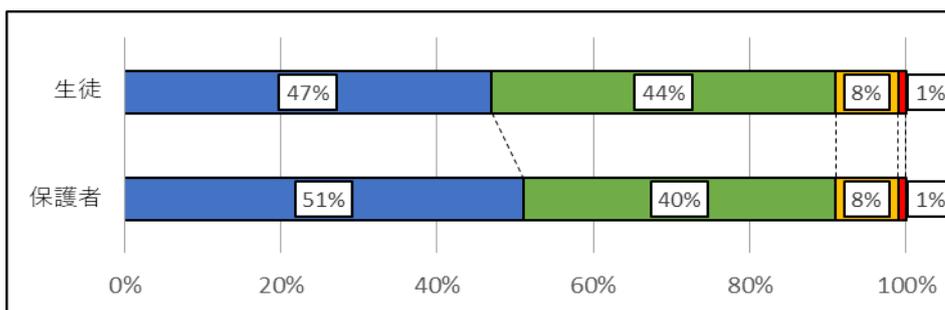
<自分自身（お子さん）について>

【質問1】 楽しく学校へ通っている。



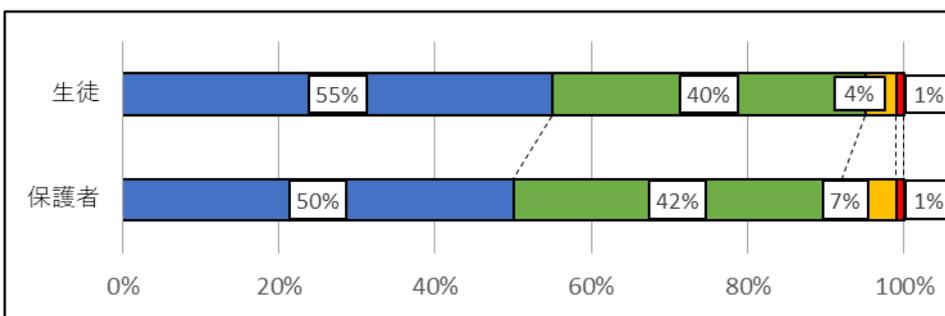
約9割の生徒が楽しく学校へ通うことができおり、昨年度以上の割合の回答がありました。しかし、楽しくないと思っている生徒が約4%（30人弱）いました。この結果を受け止め、全ての生徒に学校が楽しいと感じることができる学校を目指し、引き続き、生徒一人一人が笑顔で生活が送れるように努めていきます。

【質問2】 学校の活動や行事等に意欲的に取り組んでいる。



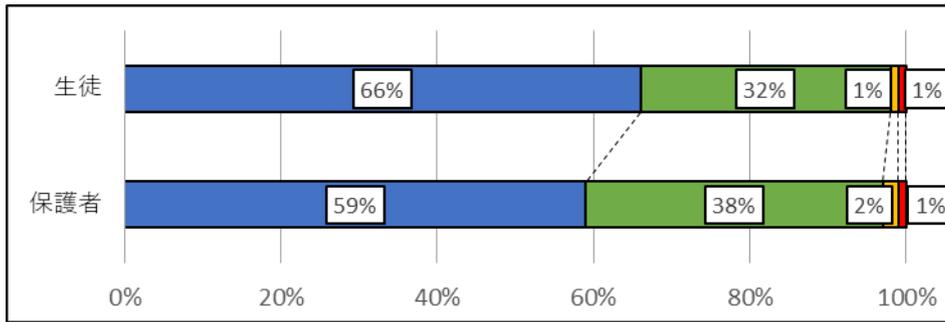
多くの生徒が意欲的に取り組んでいます。保護者からも、昨年度以上の割合で、肯定的な回答がありました。今後も、日々の活動や行事を通して、仲間と協力することや達成感を味わえるように工夫をしていきます。

【質問3】 良好な人間関係を築きながら生活を送っている。



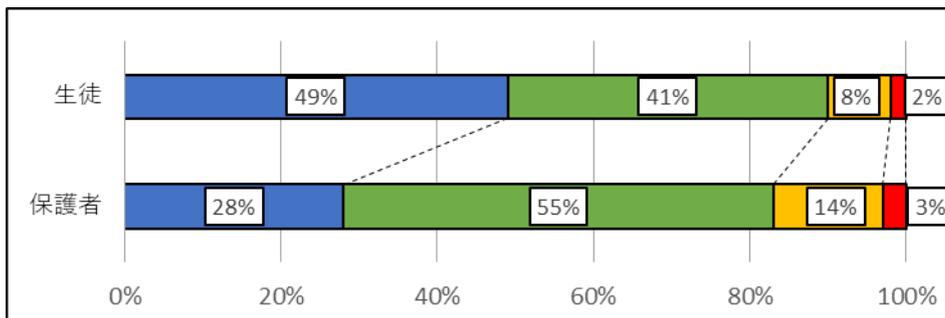
学校生活の中で相手を尊重する心や思いやりの心をもって相手と接していることが分かります。生徒会活動を通して、さまざまな異学年交流を計画し、多様な人と関わる活動を行った成果が、昨年度以上の肯定的な回答につながったと考えます。

【質問4】 学校や社会のきまりやマナーを守って生活を送っている。



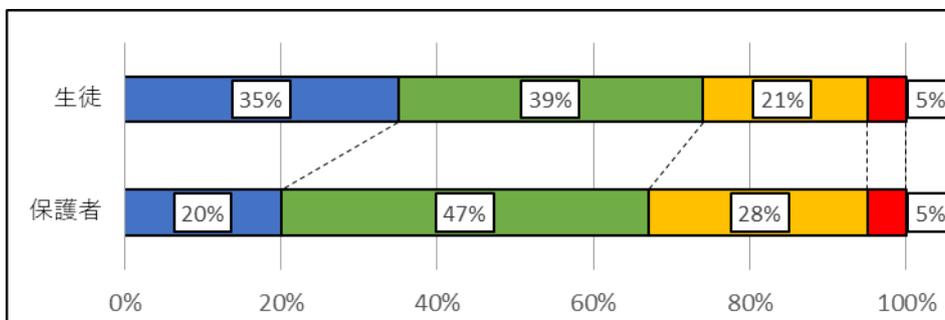
桜田中学校の多くの生徒は、規範意識をもち、周囲に配慮ある言動ができると感じます。今年度は人権教育にも力を入れ、生徒一人一人が人権を大切にす意識が芽生えたことで、安心・安全に学校生活を送ることにつながったと感じています。

【質問5】 学校で自分らしさを出して生活を送っている。



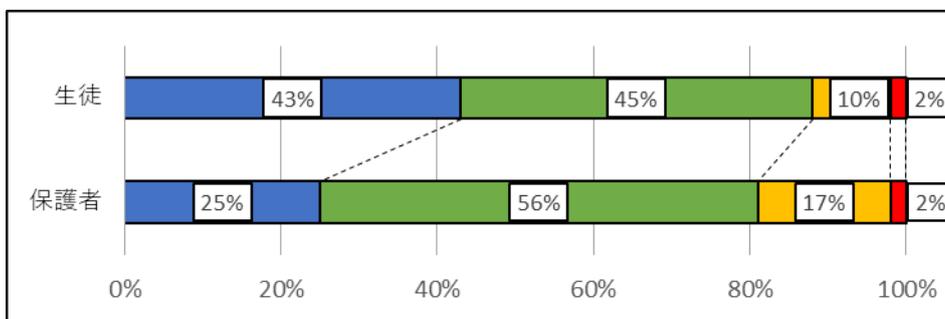
生徒は互いを認め合いながら生活を送れていることが分かります。また、生徒は保護者が思っているよりも学校で自分らしさを出せていると感じていることも分かりました。今後も、お子様の学校での様子を伝えていけるように努めていきます。

【質問6】 夢や目標をもって生活を送っている。



約7割の生徒が夢や目標をもってしていると答えています。今後は、キャリア教育の視点からも、自分の得意なことを理解する場面や、自分で立てた目標に対して取り組むことの大切さを伝えていくことで、進路選択につなげていきたいと思ひます。

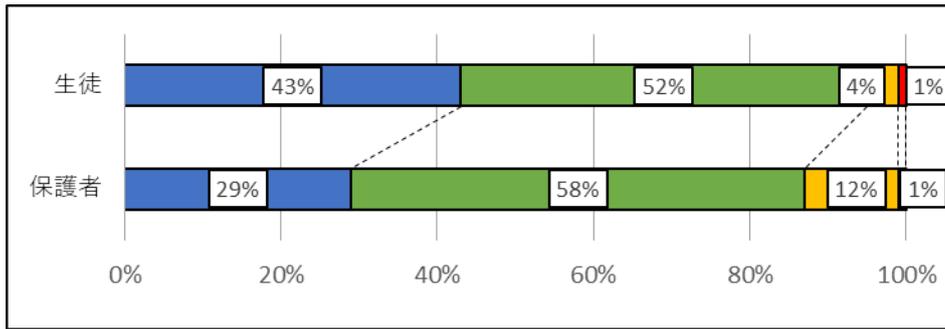
【質問7】 課題に直面したとき、自分で考えたり、周囲の人たちに相談をしたりして解決しようと行動している。



今年度から『自ら考え判断すること』をテーマに学校努力点の取り組みを進めてきました。多くの生徒が困ったときに、簡単に答えを求めめるだけでなく、自ら考えながら解決しようとする力を身に付けることができていると感じます。また、合唱コンクールの取り組みでも、クラスの課題に対して、仲間と相談し合い、解決しながら取り組む姿も見られました。

さらに、今年度から生徒会執行部が中心となって取り組みを進めた生徒集会でも、周囲の仲間と協働しながら取り組む場面が多くありました。生徒集会後の生徒アンケートからも、生徒自身が自分の成長を実感していることが分かり、学校努力点として取り組んできた成果が見られたと考えます。

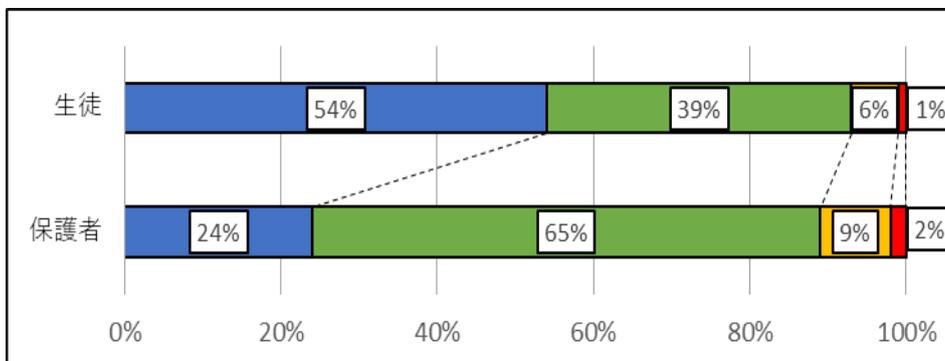
【質問 8】 他者の話や意見を参考にしながら物事を考えたり、判断したりしている。



自分の考えを深めていくためには、他者の意見を聞くことが大切だと考えます。多くの生徒が相手の意見を聞く意識をもつことができているようです。今後も、対話活動を積極的に取り入れ、考えや学びを深められるように工夫をしていきます。

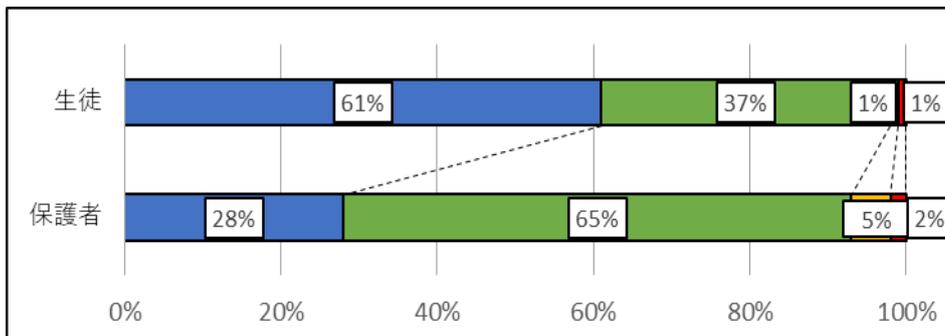
<学校の教育活動について>

【質問 9】 学校は(先生)は、生徒一人一人の気持ちを理解し、生徒に寄り添った指導をしている。



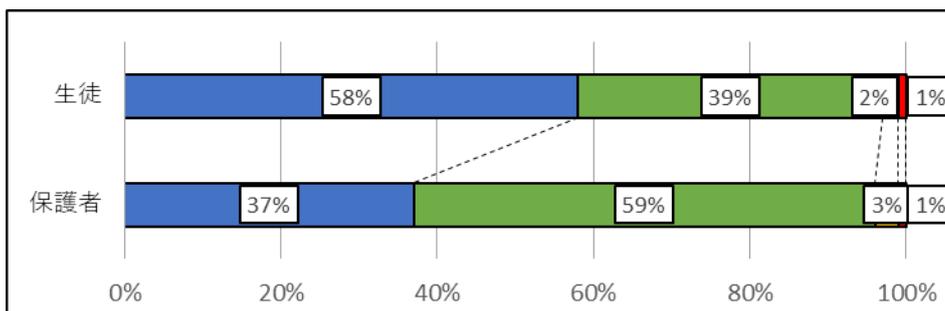
多くの生徒が職員との関係が良好だと感じていることが分かりました。今年度から、新たに長期休業明けに教育相談を設定し、教職員が生徒とコミュニケーションを取ることに努めました。今後も家庭と連携しながら、個に応じた指導や支援を大切にしていきます。

【質問 10】 学校(先生)は良いことや努力をしたときに褒め、良くないことをしたときにきちんと指導している。



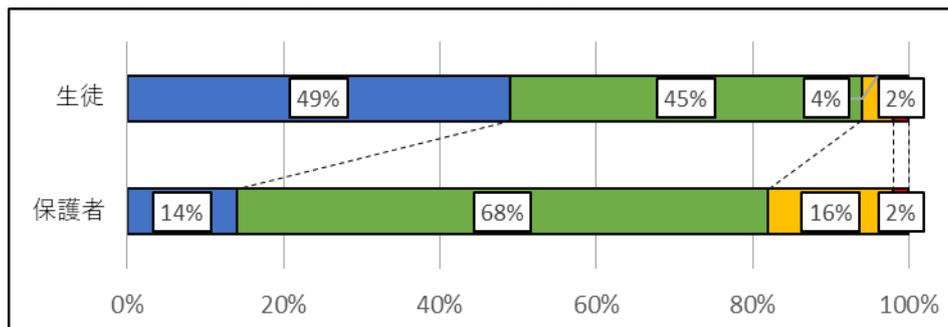
ほとんどの生徒は適切な指導をされていると感じています。今後も生徒のよいところや頑張りをしっかりと伝えていくとともに、場面に応じて適切な指導を行えるように努めます。また、今後も、お子様の様子をご家庭へ積極的に伝えていけるようにしていきます。

【質問 11】 学校(先生)は、学級の活動や行事の中で仲間と協力し合い、個や集団を高め合っている指導をしている。



多くの生徒が学校の教育活動を通して、仲間とともに成長を合っていると感じています。各学級では、さまざまな場面で仲間と共に主体的に活動に取り組める工夫を行っています。今後も生徒一人一人が成長できる学級づくりを目指していきます。

【質問 12】 学校(先生)は、分かりやすい授業を行っている。



学校だよりでもお伝えしましたが、生徒が分かりやすい授業を目指し、日々授業改善に取り組んでいます。生徒・保護者ともに昨年度以上の割合で、お認めいただく回答となりましたが、今後も生徒の声に耳を傾けながら授業改善を図るとともに、保

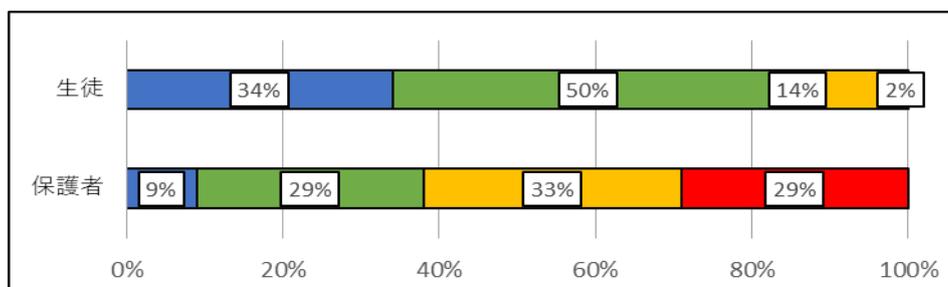
護者の方にも授業の様子を伝えていけるように努めていきます。

【生徒質問 13】 授業の中で、「※ 自分に合った学び方」を選択して、学習に取り組んでいる。

(生徒回答 4: 聞いたことがある 3: 時々聞くことがある 2: あまり聞くことがない 1: 聞いたことがない)

【保護者質問 13】 お子さまは、自分で目標や課題を設定したり、自分に合った学び方を選択したりして、学習に取り組むことがある(取り組んでいる)という話をおうちで聞くことはありますか。

(保護者回答 4: 聞いたことがある 3: 時々聞くことがある 2: あまり聞くことがない 1: 聞いたことがない)



桜田中学校では、生徒が自ら目標を設定して学習に取り組めるように、自分に合った学び方を選択するような取り組みをしています。生徒は自分の課題を意識して学習することができたり、自分に合った難易度の問題

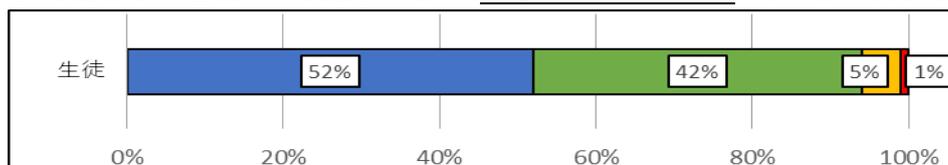
に取り組んだりすることができ、主体的に学習に取り組むことができました。

一方で、保護者の方には、生徒主体の授業への転換について、十分に取り組みをお伝えすることができていないという現状も把握することができました。今後も授業参観を通して生徒が自分事として学んでいる姿を見ていただくとともに、個人懇談会や各種たよりなどを通して、学校の様子をお伝えしていきたいと思えます。

※ 「自分に合った学び方」とは、次のような内容です。(学年によって実施していない教科もあります)

- ・ 自分で設定した目標(難易度)の問題に取り組むこと(数学のドリルなど)
- ・ 自分で設定した課題(テーマ)について表現すること(英語のスピーチ、音楽の創作活動など)
- ・ 自分で立てた仮説が正しいかどうかを見通しながら学ぶこと(理科の単元など)
- ・ 自分で学習する順序を決めて見通しを立てて学ぶこと(理科の単元など)
- ・ 自分が興味のある課題(テーマ)を本やタブレットで調べること(国語や社会の調べ学習など)
- ・ 自分のペースで学習を進めること(美術の作品制作、音楽や保健体育の技能習得など)
- ・ 自分の課題(テーマ)に合わせた材料や規格を選択すること(技術・家庭の作品制作など)

【生徒質問 14】 先生は、授業を通して自分に合った学び方に取り組む際、適切な指導や助言をしてくれますか。



約9割の生徒が、自分に合った学び方に取り組む際に、教師が適切な指導・助言をしていると答えたことが分かりました。

学校だより(第2号)でもお伝えしましたが、これからの社会を生き抜く力を育むことを目指して策定された『ナゴヤ学びのコンパス』の理念に則り、桜田中学校では、これまでの教師主体で一斉指導中心の授業から、自分で目標や課題を設定したり、自分のペースで学習を進めたりする生徒主体の授業への転換を少しずつ進めております。その中で、教師の役割は、単に知識伝達に留まらず、生徒の困り感に寄り添い、生徒を『伴走する』役割が重要だといわれています。今後も生徒の声に耳を傾けて、困り感に寄り添えるように努めます。